

広島県告示第949号

瀬戸内海環境保全特別措置法（昭和48年法律第110号）第8条第1項の規定による特定施設の構造等変更許可の申請があったので、同条第3項において準用する同法第5条第4項の規定によって、その概要を次のとおり告示する。

令和元年12月16日

広島県知事 湯 崎 英 彦

1 申請者の住所及び氏名並びに工場又は事業場の所在地及び名称

申請者の住所及び氏名	東京都中央区銀座六丁目15番1号 電源開発株式会社
工場又は事業場の所在地及び名称	広島県竹原市忠海長浜二丁目1番1号 電源開発株式会社竹原火力発電所

2 申請の内容

汚水等処理施設1基の使用の方法を変更するとともに、排水口における排出水の汚染状態及び量を変更する。

(1) 特定施設の種類、能力及び使用の方法

変更なし

(2) 汚水等の処理の方法

変更

		変 更 前
種	類	脱硫排水処理装置
能	力	1,500 t / 日
工期等	工事着手予定年月日	—
	工事完成予定年月日	—
	使用開始予定年月日	—

使用の方法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	項 目	通 常		最 大	
			処 理 前	処 理 後	処 理 前	処 理 後
		水素イオン濃度(単位：水素指数)	4～12	6.5～8.5	4～12	6.5～8.5
		化学的酸素要求量	84	10	129	15
		窒 素 含 有 量	200	30	411	60
		磷 含 有 量	8.2	4.5	16.3	8
		浮 遊 物 質 量	460	10	1,000	15
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	2	1	4	1
		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	84	30	200	60
		ほう素及びその化合物	100	100	250	230
		ふっ素及びその化合物	40	10	100	15
		セレン及びその化合物	1	0.05	2	0.1
		カドミウム及びその化合物	0.03	0.03	0.06	0.03
		鉛及びその化合物	0.1	0.1	0.3	0.1
		六価クロム化合物	0.5	0.5	0.5	0.5
		ひ素及びその化合物	0.1	0.1	0.18	0.1
		水銀及びその化合物	0.01	0.005	0.03	0.005
		排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	1,294	1,300	1,494	1,500
			変 更 後 (定 常 時)			

種 類		脱硫排水処理装置				
能 力		1,500 t/日				
工 期 等	工 事 着 手 予 定 年 月 日	許可後直ちに				
	工 事 完 成 予 定 年 月 日	許可後直ちに				
	使 用 開 始 予 定 年 月 日	許可後直ちに				
使 用 の 方 法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	項 目	通 常		最 大	
			処 理 前	処 理 後	処 理 前	処 理 後
		水素イオン濃度(単位：水素指数)	4～12	6.5～8.5	4～12	6.5～8.5
		化学的酸素要求量	84	10	129	15
		窒 素 含 有 量	200	30	411	60
		磷 含 有 量	8.2	4.5	16.3	8
		浮 遊 物 質 量	460	10	1,000	15
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	2	1	4	1
		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	84	30	200	60
		ほう素及びその化合物	100	100	250	230
		ふっ素及びその化合物	40	10	100	15
		セレン及びその化合物	1	0.05	2	0.1
		カドミウム及びその化合物	0.03	0.03	0.06	0.03
		鉛及びその化合物	0.1	0.1	0.3	0.1
六価クロム化合物	0.5	0.5	0.5	0.5		

(単位：
mg/L)

		ひ素及びその化合物		0.1	0.1	0.18	0.1			
		水銀及びその化合物		0.01	0.005	0.03	0.005			
		排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)		1,294	1,300	1,494	1,500			
				変更後(非定常時)						
種	類	脱硫排水処理装置								
能	力	2,250 t/日								
工期等	工事着手予定年月日			許可後直ちに						
	工事完成予定年月日			許可後直ちに						
	使用開始予定年月日			許可後直ちに						
使用の方法	汚水等の汚染状況 処理前処理後の	項	目	通 常			最 大			
				処 理 前			処 理 後	処 理 前		
		高塩濃度系(処理前)	高塩濃度系(処理後)	中塩濃度系(脱COD工程前に流入)	高塩濃度系(処理前)	高塩濃度系(処理後)		中塩濃度系(脱COD工程前に流入)		
		水素イオン濃度(単位：水素指数)	4~12	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5	4~12	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5
		化学的酸素要求量	95	10	5	6.66	145	19	10	15
		窒素含有量	228	27	10	20	471	60	60	60
		燐含有量	9.3	4.5	1	3	18.6	8	8	8
		浮遊物質質量	460	10	2	6.6	1,000	15	15	15
		ノルマルヘキサン抽出物質含有量	2	0.7	0.5	0.6	4	1	1	1
		アンモニア、アンモニウム化合物、亜硝酸化合物及び硝酸化合物	84	27	10	20	200	60	60	60
ほう素及び化合物	100	100	10	62	250	230	20	137		

(単位：mg/L)

ふっ素及び化合物	40	10	1	6.2	100	15	2	9.2
セレン及びその化合物	1	0.05	-	0.03	2	0.1	-	0.06
カドミウム及びその化合物	0.03	0.03	-	0.02	0.06	0.03	-	0.02
鉛及びその化合物	0.1	0.1	-	0.06	0.3	0.1	-	0.06
六価クロム化合物	0.5	0.5	-	0.3	0.5	0.5	-	0.3
ひ素及びその化合物	0.1	0.1	-	0.06	0.18	0.1	-	0.06
水銀及びその化合物	0.01	0.005	-	0.003	0.03	0.005	-	0.003
排出される汚水等の1日当たりの量 (単位：m ³)	1,124	1,130	820	1,950	1,244	1,250	1,000	2,250

(3) 排出水の汚染状態

(その1) 変更

排水口名	項 目	変更前 (単独放水時)		変更後 (定常時) (単独放水時)		変更後 (非定常時) (単独放水時)	
		通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大
	水素イオン濃度(単位：水素指数)	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5	6.5~8.5
	化学的酸素要求量	10	15	10	15	6.66	15
	浮遊物質	10	15	10	15	6.6	15
	窒素含有量	30	60	30	60	20	60
	磷含有量	4.5	8	4.5	8	3	8
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量	1	1	1	1	0.6	1

No.1 排水口	アンモニア, アンモニウム化合物, 亜硝酸化合物及び硝酸化合物	(単位: mg/L)	30	60	30	60	20	60
	ほう素及び化合物		100	230	100	230	62	137
	ふっ素及び化合物		10	15	10	15	6.2	9.2
	セレン及びその化合物		0.05	0.1	0.05	0.1	0.03	0.06
	カドミウム及びその化合物		0.03	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02
	鉛及びその化合物		0.1	0.1	0.1	0.1	0.06	0.06
	六価クロム化合物		0.5	0.5	0.5	0.5	0.3	0.3
	ひ素及びその化合物		0.1	0.1	0.1	0.1	0.06	0.06
	水銀及びその化合物		0.005	0.005	0.005	0.005	0.003	0.003
	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)		1,300	1,500	1,300	1,500	1,950	2,250

(その2) 変更

排水口名	項 目	変更前 (混合放水時)		変更後 (定常時) (混合放水時)		変更後 (非定常時) (混合放水時)	
		通 常	最 大	通 常	最 大	通 常	最 大
3号 放水口	排出される汚水等の1日当たりの量 (単位: m ³)	2,665,300	2,665,500	2,665,300	2,665,500	2,665,950	2,666,250

3 事前評価に関する事項を記載した書面の縦覧期間及び縦覧場所

(1) 縦覧期間

令和元年12月16日から令和2年1月6日まで

(2) 縦覧場所

広島県環境県民局環境保全課及び広島県西部東厚生環境事務所環境管理課並びに竹原市市民生活部市民課